

世界自閉症啓発デー in Hakodate

企画に係る費用負担基準（案）

制定	2026 年 9 月 日	施行	2026 年 10 月 1 日	最終改定	-
----	--------------	----	-----------------	------	---

この基準の考え方 協力者全員への一律支給ではなく、共同参加・専門的な招聘・業務発注を区別します。金額は役割と負担で決め、企画の費用対効果と利益相反を別に審査します。

第 1 条 目的

この基準は、世界自閉症啓発デー in Hakodate（以下「本事業」という）の企画に関して実行委員会が負担する謝金、旅費、実費その他の費用について、公平性、透明性および啓発効果と費用の均衡を確保するため、共通の判断基準と手続を定める。

第 2 条 基本原則

- 費用の支給は、協力者の肩書きやプロ・アマの呼称だけでなく、実行委員会が依頼する役割、専門性、準備負担および協力者側が得る発表・交流・広報等の機会を踏まえて決定する。
- 同じ役割と条件には、原則として同じ取扱いを適用する。
- 企画の採否と、個人・団体に対する支払いの可否・金額は分けて審査する。
- 支払条件は、依頼または募集の段階で提示し、実施後に担当者の判断のみで変更しない。
- 実行委員、企画提案者および通常の運営スタッフが担う企画運営は、原則として謝金の対象としない。専門的な役割を別途依頼する場合は、本基準により審査する。

第 3 条 外部協力の区分

外部協力は、依頼の性質に応じて次の 3 区分に分類する。

区分	内容	費用負担の原則
I 参加・発表型	出演・展示・交流等に参加し、本人・団体にも発表、交流、広報等の機会があるもの	謝金は原則として支給しない
II 招聘・専門協力型	委員会が特定の知識、経験、講演、演奏、指導等を必要として個別に依頼するもの	別表 1 の標準額を基礎に審査
III 業務委託型	制作、司会、音響、撮影等の専門業務または成果物を発注するもの	見積り・契約等により審査

第 4 条 参加・発表型企画

1 次の要件をおおむね満たす企画は、参加・発表型とする。

- 複数の個人または団体が共通の条件で参加する発表会、展示会、交流会等であること。
- 参加者自身にも、活動発表、交流または広報等の利益があること。
- 参加者が内容を主体的に構成し、委員会が特定の専門的成果物を発注していないこと。
- 無償参加であることを依頼または募集の段階で明示していること。

2 参加・発表型では、実行委員会は会場、基本的設備、広報および運営等を提供し、参加者は演奏、展示、活動紹介等を提供する共同企画と位置づける。この場合、無償参加は謝金の受領辞退とは扱わない。

3 通常の練習費、衣装費、材料費、交通費、楽器運搬費その他参加者が通常負担する費用は、原則として参加者負担とする。

例 1 | 音楽祭 複数の地域団体が共通条件で出演し、ホールでの演奏機会と活動紹介の機会が提供される企画。各団体が通常の活動の範囲で演奏する場合は参加・発表型とし、団体数に応じた一律の出演謝礼は支給しない。

例 2 | 作品展示・活動紹介 当事者団体、家族会、福祉事業所等が共通条件で参加し、日頃の作品や活動を紹介する展示企画。参加団体にも発表・広報の機会があり、展示内容を各団体が主体的に構成する場合は参加・発表型とする。

第 5 条 招聘・専門協力型

次のいずれかに該当する場合は、招聘・専門協力型として有償依頼を検討できる。

- 基調講演、特別講演、専門的解説、体験談、パネル参加等を個別に依頼する場合
- 特定の専門性・経験を持つ者を指名し、内容、テーマ、時間等を具体的に指定する場合
- 通常の活動紹介を超える新規の準備、制作または指導を求める場合
- その者を招聘することが企画の中心的価値となり、出演者側より実行委員会側の利益が明らかに大きい場合

謝金は別表 1 を基礎として算定する。ただし、標準額は支給可能額の目安であり、協力者全員に当然に支給するものではない。

例 1 | 専門講演・トークショー 特定の分野の専門家または知名度の高い話題提供者に対し、実行委員会がテーマ、対象、時間を指定して講演・講話・質疑応答等を依頼する企画。専門知識の提供が企画の中心となるため、招聘・専門協力型として謝金を検討する。

例 2 | 特別演奏・合同指導 音楽祭の一般出演団体とは別に、プロの音楽家（主たる生計手段が演奏や楽曲制作である演奏者）へ特別演奏、新曲の制作または合同演奏の指導を具体的に依頼する企画。一般出演者とは役割と準備負担が明確に異なるため、招聘・専門協力型として審査する。

第 6 条 同一企画内の有償・無償の混在

参加・発表型の一般参加者を無償とし、特別ゲストまたは専門協力者のみを有償とする場合は、次のすべてを満たさなければならない。

1. 有償者の役割が、無償参加者の役割と明確に異なること。
2. 有償とする企画上の必要性および期待される啓発効果を説明できること。
3. 役割の違いと条件を、他の参加者に説明できること。
4. 企画検討会議の事前承認を得ること。

一般参加者と実質的に同じ役割である場合、一部の者にのみ謝金を支給してはならない。

第 7 条 実費および合理的配慮

謝金を支給しない場合でも、次の費用は事前承認により実行委員会が負担できる。

- 障害のある参加者に必要な合理的配慮または支援費
- 実行委員会が本企画固有の演出として指定した物品・材料費・機材運搬費等
- 合同企画等のため新たに必要となった楽譜、制作物その他の特別費用

実費補助は、原則として事前申請および領収書等による精算とし、同じ事情にある者には同じ基準を適用する。

通常上限は 1 団体 5,000 円、企画全体 20,000 円を目安とし、これを超える場合は個別審査とする。

第 8 条 旅費・宿泊費

1. 招聘・専門協力型または業務委託型の場合には、合理的な旅費・宿泊費を実行委員会が負担できる。
2. 公共交通機関は、合理的な通常経路の実費を負担できる。航空機・特急等は原則として普通席・普通車とする。
3. 自家用車、タクシー、宿泊費等は、必要性和金額について事前承認を要する。
4. 宿泊は日帰りが著しく困難な場合に限り、原則として実行委員会が直接予約・支払を行う。
5. 食事代および日当は、特別な事情がある場合を除き支給しない。

第 9 条 利益相反の開示

支払先が、企画者、実行委員または事務局関係者と次の関係にある場合は、当該関係を事前に申告しなければならない。

- 親族または同居人
- 所属先の同僚、役員または職員
- 継続的に共同活動を行っている個人・団体
- 企画者等が運営、経営または所属する団体
- 私的な友人その他、第三者から見て選定への影響が疑われ得る関係
- 過去または現在、金銭を伴う継続的な取引・共同事業がある相手

地域活動上の単なる面識だけを利益相反とみなすものではなく、支払先の選定または金額決定に影響を及ぼし得る関係かどうかで判断する。

第 10 条 利益相反がある場合の審査

1. 関係者は、関係性および支払予定額を申告する。
2. 当該関係者は、支払先の選定および金額の審議・決定に加わらない。
3. 利害関係のない実行委員が、必要性、金額および代替候補の有無を審査する。
4. 選定理由、審査経過および決定額を議事録に残す。
5. 支払は、本人または所属団体からの請求書、領収書等に基づいて行う。

公募によらず企画者の知人等へ直接依頼すること自体を禁止しない。ただし、有償で依頼する場合は、専門性、企画との適合性、期待される啓発効果等の選定理由を記録する。

第 11 条 金額別の承認手続

1 支払先当たりの予定額	必要な手続
10,000 円以下	関係性の申告および選定理由の記録
10,000 円超～30,000 円	利害関係のない実行委員を含む企画検討会議の承認
30,000 円超～50,000 円	複数候補、通常料金または相場との比較。比較困難な場合は理由を記録
50,000 円超	公募、相見積りまたは特命理由書による特別審査

講師・出演者等は価格だけで選定できないため、最低価格を選ぶことを求めるものではない。比較資料は、金額と選定の妥当性を説明するために用いる。

第 12 条 企画単位の支出上限

費用区分	通常上限
参加・発表型企画の出演謝礼	原則 0 円
参加者・団体への特別実費補助	企画全体 20,000 円程度

費用区分	通常上限
専門協力者への謝金	企画全体 30,000 円程度
特別ゲストを含む企画	企画全体 50,000～100,000 円
通常上限を超える企画	啓発効果、財源、代替案を示して特別審査

参加者数が増える企画では、人数×単価によって予算が自動的に増えないよう、原則として企画単位の上限を先に設定する。年度予算の状況に応じ、企画検討会議は上限を引き下げることができる。

第 13 条 企画の費用対効果

有償の招聘または業務委託を承認する際は、金額の適正性とは別に、次の事項を審査する。

- 普段は自閉症に関心の薄い層へ届く企画であるか。
- 自閉症への関心・理解を高める具体的な工夫があるか。
- その協力者または支払内容が企画に必要であるか。
- 同程度の効果を、より少ない費用または別の方法で得られないか。
- 参加者数だけでなく、対話の深さ、当事者参画、記録物の再利用、広報波及等を含む効果が見込まれるか。

第 14 条 無償協力の取扱い

- 1 招聘・専門協力型として標準謝金の対象となる者が、自発的に謝金の辞退または減額を申し出た場合は、その意思を尊重する。辞退の有無を企画採否または将来の依頼に影響させてはならない。
- 2 参加・発表型は、当初から相互の資源提供による共同参加であり、本条の『謝金辞退』には当たらない。

第 15 条 運営ボランティア

- 1 会場設営、受付、案内、誘導、撤収その他のイベント運営に協力するボランティアは、原則として無償とする。
- 2 保護者の同伴なく参加する高校生および大学生の運営ボランティアには、交通費を支給する。金額は 1 日当たり最低 500 円とし、交通経路に応じた公共交通機関の運賃実費を上限とする。金額及び支払方法は各企画において決定し、企画検討委員会で報告・承認を受ける。実費支給の場合には、領収書に交通経路申請書を添付する。
- 3 小学生および中学生が運営ボランティアとして参加する場合は、保護者の同伴を原則とする。
- 4 前 2 項の交通費支給および保護者同伴は、謝金の支給を意味するものではなく、安全な参加と移動負担への配慮として取り扱う。

第 16 条 事前提示および記録

1. 企画責任者は、依頼または募集時に、協力区分、謝金の有無、実費負担の範囲および支払条件を提示する。
2. 支払を伴う企画は、支払先、役割、金額、算定根拠、利益相反の有無および承認結果を記録する。
3. 実施後の追加支払は、事前に予見できなかった必要費用を除き、原則として認めない。

第 17 条 会計・税務

謝金、講演料、原稿料等は、法令および実行委員会の会計手続に従う。交通費・宿泊費は、可能な範囲で実行委員会が交通機関、宿泊施設等へ直接支払う。消費税、インボイス、請求書等の取扱いは、支払先の形態と関係法令に応じて確認する。

第 18 条 例外および改定

この基準により難しい特別な事情がある場合は、企画責任者が理由、金額、期待される効果、代替案および財源を示し、企画検討会議の承認を得るものとする。本基準は、年度予算、実施実績および社会情勢を踏まえ、必要に応じて見直す。

別表 1 招聘・専門協力型の標準謝金

区分	判断の目安	標準額
一般協力	体験談、短い解説、パネル参加等。特別な資料作成が少ないもの	3,000～5,000 円／回
専門協力	継続的な活動実績、資格または専門経験に基づく講演・実演	5,000 円／時間
高度専門協力	職業上の高度な専門性または十分な実績に基づく講演・指導	8,000 円／時間
特別招聘	著名者、希少な専門家、通常の講演料金がある者	個別審査

算定上の留意事項

- 登壇、質疑および公式な交流時間を実働時間に含め、移動および控室での待機時間は含めない。
- 30 分未満は原則 1 時間分、30 分以上 90 分未満は 1 時間分、90 分以上は 2 時間分とする。2 時間を超える場合は 30 分単位で算定する。
- 通常の資料作成、簡単な事前打合せおよびメール連絡は標準謝金に含める。企画専用の新規制作等は別途審査できる。
- 1 人・1 企画の標準上限は 30,000 円とし、50,000 円を超える場合は特別招聘として審査する。

別表 2 協力区分の判定チェック

確認事項	判断の方向
本人・団体にも発表、交流、広報等の利益がある	参加・発表型の可能性が高い
複数参加者が共通条件で出演・出展する	原則無償とすることができる
委員会が特定の専門的内容や成果を指定する	招聘・専門協力型または業務委託型を検討
新規制作、特別な準備または指導を依頼する	追加費用の必要性を審査
一部の出演者だけに支払う	役割の違いと必要性を文書化
支払先が企画者の親族、友人、所属団体等である	利益相反手続を実施
30,000 円を超える支払である	他候補または相場との比較
50,000 円を超える支払である	特別審査

別表 3 依頼・募集時の標準記載例

参加・発表型 本企画は、参加団体と実行委員会が共同して実施する参加型企画です。実行委員会は会場、基本的な設備、広報および運営を提供し、参加団体には無償で演奏・展示・発表等にご参加いただきます。原則とし

て出演謝礼、練習費、衣装費、通常の交通費・運搬費等は支給しません。特別な実費が見込まれる場合は、必ず事前にご相談ください。

招聘・専門協力型 今回のご依頼は、専門的な講演・実演等をお願いするものです。謝金は〇円、交通費は〇〇の範囲で実費負担とします。準備費・制作費の追加が必要な場合は、依頼受諾前にご相談ください。

参考資料

- 世界自閉症啓発デー in Hakodate 2027『企画募集趣意書』
- デジタル庁『謝金の標準支払基準』（2026 年 4 月 1 日適用）
- 国税庁『原稿料や講演料等を支払ったとき』

原案作成：2026 年 8 月 20 日

原案改定（第 1 回）：2026 年 9 月 6 日